

CP-6-Ⅲ-05	臨床栄養学	第 6 学年	前期 選択	1 単位
担 当 者	井上 善文			
一 般 目 標 (GIO)	医療の基本は栄養である。栄養状態が悪いと、様々な治療に対する反応も悪く、有効な治療ができない。静脈栄養、経腸栄養は栄養管理の基本的技術であるが、これらが実施できなければ栄養治療はできない。実際に栄養管理を実施するために必要な基本的知識を習得する。			
到 達 目 標 (SBOs)	【栄養アセスメント】 1. 栄養アセスメントの意義を理解できる。 2. 栄養アセスメントを実施することができる。 【経腸栄養法】 1. 経腸栄養剤の種類、特徴を説明できる。 2. 経腸栄養の実施方法を説明できる。 3. 経腸栄養に関する合併症の内容、予防対策を説明できる。 【静脈栄養法】 1. 静脈栄養に関する薬剤の種類、特徴を説明できる。 2. 静脈栄養の実施方法を説明できる。 3. 静脈栄養に関する合併症の内容、予防対策を説明できる。			
受 講 心 得・ 準 備 学 習 等	臨床栄養学は、薬学領域においても非常に重要であることを理解することが本科目の目標である。難しく考えることなく、その重要性・意義を理解していただければよい。			
事 後 学 習・ 復 習 等	講義の中で触れたポイントについて、講義内容を復習し、知識を整理しておくこと。			
オフィスアワー	講義の前後に教室にて質問を受け付ける			

授業の形式と各回の内容

授業の形式		講義形式
回	項 目	内 容
1	栄養療法の重要性	栄養療法の重要性について、症例を通して概説する
2	栄養アセスメント	栄養アセスメントの具体的な方法、判定方法について実践する
3	栄養アセスメント	栄養アセスメントの実践
4	経腸栄養法の基本	経腸栄養剤の種類、特徴について説明する
5	経腸栄養法の基本	経腸栄養剤の種類、特徴について説明する
6	経腸栄養法の応用	経腸栄養法の実施方法について説明する
7	経腸栄養法の応用	経腸栄養法の実施方法、問題点について説明する
8	静脈栄養法の基本	静脈栄養法に関する薬剤の種類、特徴などについて説明する
9	静脈栄養法の基本	静脈栄養法の実施方法について説明する
10	静脈栄養法の応用	静脈栄養法の実施方法、問題点について説明する
11	静脈栄養法の応用	静脈栄養法の実施方法、問題点について説明する
12	在宅静脈栄養法	在宅静脈栄養法について説明する

※各回とも 2 時限連続で講義を行う。

成 績 評 価 の 方 法	定期試験結果を最重要視するが、質問等を通した講義への積極的な参加など、受講態度も当然加味する。
成 績 評 価 の 基 準	定期試験結果が 60 点以上
教 科 書	使用しない。必要に応じてプリントを配布する
参 考 書 等	井上善文著「栄養管理のエキスパートになる本」、「輸液・栄養・感染管理のコツ」、「静脈経腸栄養ガイドライン第 3 版」、「栄養管理テクニック 静脈栄養」